

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公開番号】特開2013-195210(P2013-195210A)

【公開日】平成25年9月30日(2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-053

【出願番号】特願2012-62217(P2012-62217)

【国際特許分類】

G 0 1 T 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 T 1/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月10日(2014.5.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

本発明の第五態様は、携帯可能な放射線測定装置と、前記放射線測定装置から出力される情報に基づいて選択した指令を前記放射線測定装置に出力する中央監視装置とを含んで構成される被曝管理システムであって、前記放射線測定装置および前記中央監視装置は、無線通信部をそれぞれ備え、相互に無線通信が可能であり、前記放射線測定装置は、放射線量を測定する測定手段と、使用者の年齢、性別および妊娠の有無の少なくともひとつからなる使用者情報を記憶する記憶手段と、過去の期間の放射線量の測定値を累積した累積被曝量を算出する算出手段と、前記使用者情報に基づいて第二所定値を設定する設定手段とを備え、前記累積被曝量が前記第二所定値以上であるときに、前記使用者情報と前記累積被曝量とを含み指令を要求する第二無線信号を前記中央監視装置に送信するものであり、前記中央監視装置は、前記第二無線信号に含まれる情報に基づいて設定した指令を前記放射線測定装置に送信することを特徴とする。